

授業科目 臨床血液学 II

【担当教員名】 大山 富三		対象学年	3	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○				
【概要・一般目標：G10】					
<ol style="list-style-type: none"> 血液疾患について、定義、分類、主症状、検査所見などを理解する。 検査法については、臨床的意義を理解する。 健常時と異常時における検査所見の違いを理解する。 					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 基準値を列挙する。 疾患の成因、症状、病態を説明する。 疾患の検査所見を列挙する。 検査法と臨床的意義を説明する。 検査結果から疾患を類推する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	血小板の基準値と血小板異常による出血性素因（1）			1-5	講義
2	血小板異常による出血性素因（2）			2-5	講義
3	凝固因子異常症（1）			2-5	講義
4	凝固因子異常症（2）			2-5	講義
5	血管異常症、血栓症			2-5	講義
6	赤血球の基準値と貧血の定義、症状、分類			1-5	講義
7	小球性貧血（1）			2-5	講義
8	小球性貧血（2）			2-5	講義
9	大球性貧血			2-5	講義
10	正球性貧血（1）			2-5	講義
11	正球性貧血（2）、赤血球増加症			2-5	講義
12	白血球の基準値と増加症、減少症、機能異常症			1-5	講義
13	白血病（1）			2-5	講義
14	白血病（2）			2-5	講義
15	白血病（3）			2-5	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 血液検査学第3版	奈良 信雄 他	医歯薬出版	2010・5,400円＋税
参考書		血液細胞アトラス 第5版	三輪 史朗、渡辺 陽之輔	文光堂	2005・9,000円＋税
その他の資料		配布資料			
【評価方法】 定期試験 70%程度 小テスト 30%程度		【履修上の留意点】 疾患について学習するためには、基礎的な知識を理解しておくことが前提となるため、本講義前に臨床血液学Ⅰの内容を復習し理解しておくこと。また、本講義内容を復習し、不明な点は質問するなど早期に解決すること。さらに、血球の形態観察も必要となるため参考書（アトラス）を活用すること。			